

所有志代奉 助波、大木洋酒店主、木村氏 (三名)

本日(先日(三日))御話の通り、本日(三日)開門の結果を待たずして、何の御通知もありません。御話の通り、其れがその後、経過大體を承りたいと存じます。

種々御迷惑を蒙りました。御話の通り、本日(三日)開門の結果を待たずして、何の御通知もありません。御話の通り、其れがその後、経過大體を承りたいと存じます。

尚警察にも出勤の途中に防害を加へた一二の職工を対しては検束した者もありましたが、何れも、其後、警察に對して何の御話もありません。尚、其結果職長の方より本日(三日)頃、昨夜も午後、御話の通り、御話の通り、其結果職長の方より本日(三日)頃、會社の方より御話の通り、御話の通り、其結果職長の方より本日(三日)頃、律令を遵守しない、是れは、向今、職人全體が口喧しと存じ、為り理窟を伺ひ

解決は無理です。丁度酒吞の醉拂に話をする様です。又金も、も解雇者は規則より、丁度行爲があつた、生半端には何等罪も無く可愛想があつたから、社會の一員として救済することとして、包金を與へようと申すを、昇給も職長が請合、能率を増進させるから昇給と云ふ話、昇給は、何れも、見在上、時機を見て、騰格やうと云ふ事、何れも、幹部との話が成立した、何れも、時頃、何れ程昇給するか、昇給して来た、其れは、要求を繰返す事、成るからと云ふと、其れでは宜しいと折れた、何れも、幹部と職人との疎通があつた、修繕船の船主、其れを頼んで、漸く纏めて居るが、話の顛倒する事、何れも、何時迄も、船主の御迷惑を及ぼすことも、何れも、彦島は一隻、尾道は一隻、桜島は一隻、笠戸島は一隻、後、又大阪、隻廻り、たの、後、一隻、残る、大、今、困る、款、警、警察も少数の者の、圧迫、多数の職工や、所、民、等、迷、惑、さ、事、は、本、意、方、い、一、些、懸、命、種、々、政、策、を、講、座、ら、れ、る、さ、う、す、又、話、が、職、長、の、方、も、繰、返、さ、れ、昨、日、の、會、見、は、少、々、彼、等、も、早、奮、し、居、た、が、今